

第1回「北九州市児童虐待事例等検証委員会」の開催報告について

平成30年5月11日に小倉北区で発生した4歳男児が低酸素脳症により死亡した事案の第1回「北九州市児童虐待事例等検証委員会」を下記のとおり開催した。

1 開催日時・場所

○平成30年8月21日(火) 18:00～20:00

○子ども総合センター ウェル戸畑5階 研修室A(北九州市戸畑区汐井町1番6号)

2 検証委員会・委員

北九州市社会福祉審議会の児童福祉専門分科会を検証委員会とした。

また、検証委員会の中から、医師、弁護士、学識経験者、福祉関係者など数名を検証作業委員として指名し、具体的な検証作業は検証作業委員が行うこととした。吉田委員(医師)、神菌委員(医師)、溝口委員(弁護士)、山根委員(学識経験者)、吉川委員(福祉関係者)の5名が検証作業委員として選任された。

委員名簿

〈臨時委員含め計16名。◎印が検証作業委員。〉

内川 祐子	(北九州市障害児施設連盟会長)
北野 久美	(北九州市保育士会会長)
清田 秀雄	(北九州市子ども会連合役員)
黒田 玲子	(北九州市保育所連盟理事)
敷田 信代	(北九州市母子寡婦福祉会理事)
中島 和子	(北九州市手をつなぐ育成会副会長)
平田 謙悟	(福岡県警察本部少年課少年健全育成室長)
福田 百合加	(北九州市PTA協議会副会長)
◎溝口 史子	(福岡県弁護士会北九州部会) 【副分科会長】
宮崎 宏幸	(北九州市児童養護施設協議会会長)
村上 順滋	(北九州市私立幼稚園連盟会長)
◎山根 正夫	(西南女学院大学教授) 【分科会長】
山本 真紀	(社会福祉法人読売光と愛の事業団西部支部)
◎吉田 雄司	(北九州市医師会理事)
◎吉川 加代子	(北九州市民生委員児童委員協議会理事)
◎神菌 淳司	(北九州市立八幡病院小児科主任部長) 【臨時委員】

3 議事内容

〈議事1〉検証委員会の設置及び検証作業委員の選任について

〈議事2〉小倉北区で発生した4歳男児死亡事案の検証について

〈その他〉○検証委員会の目的や役割、進め方(検証方法)の確認

○事例の概要等についての説明

○全体経過と関係機関の関与についての説明

○「2歳男児傷害致死事案」の審議再開についての説明 など

4 第1回の検証委員会での主な質問や意見

【保育園等での気づきに関すること】

- 保育園や幼稚園における本児やきょうだいの様子はどうだったのか。
- 子どもの異変に気づかなかったのか。

【虐待リスク要因に関すること】

- 両親の養育能力や児童の言語力、発達はどうであったか。
- 乳幼児健診の受診や児童の身長・体重など成長具合はどうであったか。
- 家族の特性や家族状況の変化等から、虐待リスクが高い家庭であることを注意していたか。

【その他】

- 妹が火傷を負った際の状況はどうであったか。など

5 今後のスケジュール

10月頃を目途に、検証作業委員による第2回検証委員会を開催するとともに、裁判の状況を踏まえて、今後の開催スケジュールを計画していく予定。

- 8月21日 第1回検証委員会

＜関係機関へのヒアリング、事実関係の調査 など＞

- 10月頃 第2回検証委員会(作業委員) ※課題・問題点の抽出や分析
- 未定 第3回検証委員会(作業委員) ※提言、報告書(素案)の検討
- 未定 第4回検証委員会 ※報告書(案)の検討 など

6 その他（検証を再開することとなった2歳男児傷害致死事案について）

○平成24年3月に、小倉北区で男児（2歳）が十二指腸破裂による循環不全で死亡し、母親の交際相手の少年(当時19歳)が男児に暴行を加えて死亡させたとして傷害致死罪に問われた事案。

○平成25年2月の福岡地裁の裁判員裁判では無罪、平成26年2月の福岡高裁では審理差し戻し、その後、最高裁に上告となる中、平成26年3月に第1回の検証委員会を開催。

○検証委員会では、係争中の事案であり、虐待なのか事故なのか推論で検証するより、裁判の判決が確定して事実が明らかになった時点で審議することとし、裁判の経過を見守りながら継続審議となっていた。

○先月7月31日付けで、最高裁が被告の上告を棄却し、懲役5年とした差し戻し後の一審、二審の判決が確定したため、本事案についても検証委員会にて審議を再開することについて、委員の了承を得たもの。